
■事業名 サマーキッズスクール2013

1 主催

(株)千葉興業銀行

2 開催日時

平成 25 年 8 月 20 日(火)14:00～17:00

4 開催場所

QVC マリンフィールド内会議室及び球場敷地内

5 参加者数

35 名(県内小学校 5 年生,6 年生)

6 プログラム

<1時間目>「お金って何？」—お金の役割を知って上手につきあおう

講師:千葉商科大学大学院 会計ファイナンス研究科教授 伊藤 宏一 氏

<2時間目>「しごと体験」—マリーンズ試合プログラムの販売体験

<3時間目>「まとめの話し」

講師:千葉商科大学大学院 会計ファイナンス研究科教授 伊藤 宏一 氏

■開催報告

サマーキッズスクールは、小学生を対象に、「お金」に関することを学び、仕事体験を通してお金の使い方を考える機会を提供することを目的とした講座です。「しごと体験」では QVC マリンフィールドの周辺にて、当日の試合プログラムを販売しました。当日は、県内の小学校 5 年生、6 年生の児童 35 名が参加しました。

<1時間目>「お金って何？」—お金の役割を知って上手につきあおう

1時間目では、千葉商科大学大学院の伊藤宏一教授が講師となり、お金の役割について説明を行いました。

お金の使い方は、「使う」(Spending)、「貯める」(Saving)、「人のために使う」(Sharing)の3つの S が重要であるとの説明から、お金は価値そのものではなく、交換価値で、どんな価値と交換するかどんな使い方をするかが大事で、自分と家族と人々の幸せのための手段として使いこなそうというお話でした。



<2時間目>「しごと体験」—マリーンズ試合プログラムの販売体験

2時間目では、実際にお金を稼ぐのはどういことなのかを体験してもらったため、当日のマリーンズの試合プログラムを1部100円で球場周辺にて約1時間販売してもらいました。

子どもたちはひとり5部を販売目標として球場への来場者に手売りを行い、それぞれ千葉興業銀行のインターンシップの大学生がサポートとして付き添いました。

積極的に売り込みをかける子、なかなか声掛けできない子など様々でしたが、大学生のアドバイスをきっかけに、販売ができるようになった子もいました。



<3時間目>「まとめの話し」

販売時間終了後、再度会議室に戻り、伊藤教授からまとめの話しがありました。

子ども達の感想は、「もっと売りたいかった。」「大変だった。疲れた。」など様々でしたが、実際にお金を稼ぐという体験をしたことで、お金を稼ぐことの大変さ、その中からお小遣いをもらえることへの感謝の気持ちも感じたようです。

子ども達への話しが終わった後、インターンの大学生向けに、ファイナンスの講義が1時間ほどあり、終了となりました。